



ボランティアの人たち

うのはまだ自然がいっぱい残っていて、家がまばらでしょ。だから、ブリーダーの方が何軒も入ってきているような感じがします。

編集部 飼い主の飼い方がなっていないのが多いんです。レベルが低いわけです。捨てるなんていうのは、論外です。

甲斐 一週間でも一緒にいれば、愛情って出てくると思うんですけどね。

編集部 猫がよく捨てられるのが、学校の前ですね。うちの子が、かわいそうだといって拾ってきて、いま、うちで飼ってます。

甲斐 その気持ちをみんな持つてくれたら……。

編集部 子供はみんなそういう気持ちを持っているんです。それをダメにするのは、大人なんです。

甲斐 その原因というのが、汚れるとか、病気が蔓延するとか、とんでもない話ですね。

大からもう病気なんて、そんなにないんですよ。

編集部 犬からうつる病気って、一つぐらいですね。

甲斐 そうです。皮膚病と狂犬病ぐらいです。**編集部** 狂犬病なんて、日本では、ほぼゼロでしょう。

甲斐 狂犬病は戦後三十三年、日本で一匹も出てませんね。それは獣医さんとお役所の努力の結果だと思います。そういう形でお役所がちよつと動いてくれたら、それができるんです。狂犬病は人間にうつるから、そうやっただらうけれども、その勢いで避妊・去勢をバアーとしてくれたら、来年から捨てられる犬猫はゼロなんですよ。ところが、助成金を出してくれない、獣医さんはめんどくさい。これじゃ、できませんよね。その期間

だけでも、公が仮に半分以上、獣医さんのほうに援助してくれるようになったら、かなり、してくれる数は増えると思う。

編集部 大企業の動きはどうですか、イメージアップの愛護基金なんかは。

甲斐 いまよくやってるのは、製薬会社とかフード関係です。

編集部 オリエントカードは、使った額の3%が動物愛護協会に自動的に寄付されるカードができましたね。

甲斐 愛護協会がそれをどう使うか、どこにお金が行くかが問題ですけどね。製薬会社でも最近、アニマル・テクニシャンとか獣医さんを集めて研究会みたいなものをやってますけど、それは動物たちにはいいことというよりも、獣医にとってもいいことになってるんですね。だから、本当の意味で、いまいる犬猫にとってもいいことを考えてあげようというのは、いまのオリエントカードの話ぐらいですね。

編集部 こういうところにお手伝いに来てくれるボランティア以外、純粹にやっているかどうか、疑問な部分はいっぱいありますね。

(次号に続く)